

千葉市議会議員(稲毛区選出)

小松崎
ふみよし

政策ジャーナル

Vol. 137 2024

KOMATSUZAKI FUMIYOSHI



ごあいさつ

JR稲毛駅や西千葉駅周辺では市と民間企業が協業して再開
発も進み、活性化するが、郊外は努力無しに発展は望めない。
両駅前には繁華街だが、汚水管と雨水管が古く合流化し、冠水
後は悪臭等の問題も発生し、改良が待たれる。郊外では都市
ガスではなくLPガスが多いが災害時は、復旧が速く非常時
発電にも向いている。ただコンパクトシティーを目指すので
はなく、点在している病院・福祉施設で、マイクロバスを所有
している場合も多く、このバスの活用が路線バス減便対策へ
の切り札になると私は考えています。規制を緩和し、地域
特性を活かした逆転の発想でデメリットをメリットに転換
できるような千葉市政を目指していきます。

令和6年第1回定例会一般質問、以下の内容で、要望しました。

1

災害対策について

- 給食室、公民館等の公共施設でLPガス設置されている。郊外ではガソリン・灯油に比べ災害時でもLPガスの調達は容易、発電に活用すべき。
- 全ての避難者が指定避難所・地域避難所・自治会館・集会所に滞在することは不可能。支援物資受け渡し、市災害対策本部との連絡・広報、マンホールトイレ設置校ではトイレ提供が避難所の最重要使命だが、自宅が危険な避難者や特別支援が必要な避難者は受け入れるべき。
- 体育館のエアコン設置で中学・高校優先だが、マンホールトイレ設置校でも優先整備を要望。
- 今回の珠洲市のような状況になると、仮設住宅も設置困難。速やかな他地域避難を想定すべき。
- 地域避難所に指定されなかった、集会所等は物資配布所等として速やかに活用すべき。
- 早期に、被害レベルごとの他地域避難の方針検討と、シンプルな避難所運営マニュアルの策定を。

略歴(プロフィール)

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒園(評議員)
千葉市立山王小・横橋中学校、
千葉北高等学校卒業(同窓会副会長)
法政大学法学部法律学科卒業(校友会役員)

職歴

衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書、事務所責任者を歴任
千葉市議会議員(稲毛区選出) 5期当選
千葉市議会議長 関東市議会議長会監事
千葉市議会議員団長、千葉市議会予算委員長

現在

社会福祉協議会山王地区部長
37地区自治会連顧問(山王中地区)
千葉市少年軟式野球協会顧問
千葉市アーチェリー協会会長
県美容業組合千葉支部顧問

千葉市早朝野球連盟副会長
千葉市ソフトボール協会顧問
千葉市総武リーグ顧問
社会福祉法人愛の園評議員
市グランドゴルフ協会名誉会長



ホームページ
2344.jp

お問い合わせ、ご意見をお待ちしております。

2

稲毛区の諸問題について

- 山王町地区では地元自治会、警察、道路管理者が連携し、最高速度規制の他に、狭さく歩道を片側に寄せ確保する等の物理的デバイスを組み合わせた、「ゾーン30プラス」に間もなく指定される。



- 萩台町では開発が進んでおり、通過車両も増えている。天台・萩台町等、他の地域でも民地に隣接し拡幅が望めない場合は「ゾーン30プラス」を導入すべき。
- 小中台小学校入学者が増え、小中台から園生小に通学する生徒が増えた。通学の際坂道で路面凍結・遠回り等、通学路に困難な箇所がある。陽だまり保育園脇の空き地を活用し、階段やスロープの設置を。また公務員住宅の一部を通行する等通学路の短縮を。



雪・凍結時は危険



赤い部分の整備を要望

- 道路舗装状況は改善。道路脇の草刈りも強化し、公園の清掃協力団体への支援強化と会派要望でもある土木事務所・公園事務所への予算増額を。



街づくり新時代

(働く場所がある・危機管理が出来る・人にやさしい街)

令和6年第2回定例会一般質問、以下の内容で、要望しました。

1

放課後の児童・生徒の過ごし方について

- 休校日、子どもルーム・アフタースクールは、**昼食・弁当の提供がなく保護者負担**が大きい。**地元の企業**が参入でき、**子ども向け**の食事の提供を要望する。また配布の際職員の負担が減る方法の検討を。
- **人件費のみの加算**を更に増やすべき。会派でも国に対して人件費に直結する、補助を要望していく。
- 右表のような特色ある教育の導入を。
- 経済的・家庭的事情で教育格差が更に広がる可能性がある、子どもルーム・アフタースクールに行かない、子どもの居場所づくりの為**タブレットを活用し、1話完結型**や**他施設の乗り入れのオンラインプログラム**の提供を。

特徴ある教育内容の例

- ①科学分野で数学アレルギー解消。
- ②芸術分野で想像力・表現力を喚起。
- ③スポーツに特化し、体力向上。
- ④他言語・学習支援で学習習慣を醸成。
- ⑤コミュニティ分野で社会的責任の認識。
- ⑥リーダーシップ、自己肯定で意識の向上。

2

学校の教科について

- 小学校の「書写」授業で、**墨は水道で流さない**、筆も水道で流さずに紙で拭き持ち帰るよう指導をする学校が多い。
- 洗いが混み、子供の時間が減るなら、**ペットボトルやバケツを活用**して洗う等の工夫で、対応して欲しい。**アフタースクールでも書道**が出来るようにすべき。
- 進行速度が速すぎても、遅すぎても**学習意欲が低下**し、年度末に歴史の**近現代が残る**、理科の特定分野が残る例がある。補習クラスや拡張学習を提供しているが、教員の負担が増える・**出席が気恥ずかしい生徒**もいる等がある。学習管理システム(LMS)等のオンライン技術を活用すべき。

3

空き家について

- 空き家問題では解決に時間のかかる項目が多いが、比較的**処理が迅速に進む**分野に、所有関係が明確だが所有者が、忘れている・面倒で後回しにしている場合があり、ここに重点を置く。
- 空き家所有者と利活用希望者とのマッチングを図り、リフォームや解体等に対応した売買等、**市民に複数の方法を提示可能な体制**で、流通を促進することが重要。今後**認知症対策チーム**の様な一括した対応が望まれる。
- 担当課が出来るまで、空き家に特化して各区役所での**例えば「地域づくり支援課」で一次受け**の場合にネーミングは例えば**「空き家バンク」の様な名前**にすれば目的が分かりやすい。
- 販売価値が残る、「**空き家になって2年以内**」等のリフォームに市独自の補助金を出すべき。東京都や、北九州市での「空き家利活用モデル事業」のような**多額ではなくとも、呼び水**として空き家の流通促進になる。

Topics／トピックス

長沼町三社大神脇の市道が砂利道だったので、**三社大神・池の辺・長沼中央・長沼自治会の協力**で舗装され、池の辺自治会側**市道も拡幅され、歩道が新たに完成**しました。通学路や自転車、歩行者が安全で便利になりました。



写真① After
広く明るくなりました。



写真① Before
砂利道で、狭い。



写真① After
自転車も、手引きカートも安心



写真② Before
狭く、危険



写真② After
車道が見通しよく、歩道が新設された。

都市建設委員会での提言概要(小松崎も所属)

- 実態調査と委託の検討・専門部署の設立・自治会との連携
- 民間組織との協働・初動の充実・標準処理期間の設定
- 福祉分野等との連携・地域の将来像の共有

